

みやこんじょボランティアフェスティバル2023募集企画

やさしさつなぐ福祉の心短歌大会 受賞作品（選者・伊藤一彦氏）

大賞

ありがとうその一言で温まるそして一言どういたしまして

（一般の部 堀之内 宏樹さん）

選評

相手から返ってきた「ありがとう」の言葉。その感謝の言葉がとても嬉しく、心が温まり、思わず「どういたしまして」。このさりげない「どういたしまして」が見事。短歌のリズムをびったり生かし爽やかだ。

優秀賞

小学生の部

だいじょうぶできないことはぼくもある

ぼくといっしょにできればいいよ

（明和小学校 外山 禮兜さん）

あいさつで心つながる君とぼくテンション上がるブランコのよう

（中霧島小学校 松田 祐季さん）

「だいじょうぶ」の歌、「ぼくといっしょにできればいいよ」の優しい激励の言葉がすばらしい。「あいさつで」の歌、「テンション上がるブランコのよう」は小学生離れた花マルの比喻で関心した。

中学生の部

おじいちゃんおばあちゃんのありがとうこれが父の働く理由

（志和池中学校 島盛 寧々さん）

お節介という名の人の優しさが活やくする場ボランティア

（泉ヶ丘高等学校附属中学校 堀 真広さん）

「おじいちゃん」の歌、父親が高齢者の施設で働いているのだと思う。その父の生きがいそしてそんな父を尊敬する心が深く伝わる。「お節介」の歌、ボランティアとはまさしく優しさから生まれるお節介だ。名言の歌だ。

佳作

小学生の部

だいじょうぶ？ たったひとつのこえかけで

ひろがっていくやさしいきもち

（丸野小学校 永盛 美緒さん）

だれにでもできないことがあるけれどそれもみんなのチャームポイント

（祝吉小学校 森山 空さん）

おばあちゃん荷物はぼくが持つからねみんなでつなぐ笑顔の輪

（東小学校 吉村 颯馬さん）

手つだうねゆうきを出して声かけたきみがえがおにわたしもえがお

（沖水小学校 山本 喜音さん）

高校生の部

助け合い地域のつながり全国へみやこんじょから広げていこう

（都城農業高校 飛松 英佑さん）

乗り降りですっと手を貸す人がいて優しい心は世界共通

（都城農業高校 水流 叶羽さん）

「助け合い」の歌、「全国へみやこんじょから」の意欲がすばらしい。その助け合いの心は「世界共通」と自信をもって歌ったのが「乗り降りで」の歌。都城の高校生の心と言葉の豊かさを示した二首である。

一般の部

参観日みんなで学ぶバリアフリー親子も子どももほっこり笑顔

（吉村 由香さん）

ボランティアかたにはまらずともだちではじめることがたのしみになる

（上野 絹江さん）

「参観日」の歌、バリアフリーを親子で学ぶ楽しさが結句の「ほっこり笑顔」にたっぷり出ている。「ボランティア」の歌、「かたにはまらず」がすばらしい。大切なのは生きいきした心なのだ。

幸せなうれしい時間友達とわかちあおうよあいさつバトン

（東小学校 宇崎 千絢さん）

ともだちとおはなししてるじかんほどちゃんとまもってただしいことば

（東小学校 関 叶愛さん）

ひとりずつじぶんがおもうそれぞれのやさしさだつてりっぱなせいぎ

（東小学校 畑中 陽向さん）

ボランティアちからを合わせていねいにつなげていこう助け合いの輪

（東小学校 湧水 蒼晟さん）

みやこんじょボランティアフェスティバル2023募集企画

やさしさつなぐ福祉の心短歌大会 受賞作品（選者・伊藤一彦氏）

佳作

中学生の部

ありがとうとなりの君に伝えようひとりの優しさが誰かの笑顔に

（妻ヶ丘中学校 大橋 ころろさん）

寒い中地域の人の「おかえり」が私にとっては心のカイロ

（志和池中学校 清水 優さん）

車椅子前から聞こえる「ありがとう」顔見えずとも心つながる

（志和池中学校 長友 藍莉さん）

シワシワの手から受け取る夏野菜ほんのり甘い祖父の愛情

（志和池中学校 近間 奏風さん）

辛口な祖母が作った甘いカレー言葉なくとも伝わる愛情

（志和池中学校 福留 賢心さん）

誰にでも不得意なことあるけれど生きていこうよ補いあって

（泉ヶ丘高等学校附属中学校 新原 友葉さん）

そばにいるただそれだけでほっとするそんなそんざいなれますように

（泉ヶ丘高等学校附属中学校 前畑 杏さん）

ヒーローはテレビの中だけではないよみんながなろう福祉ヒーロー

（泉ヶ丘高等学校附属中学校 外山 悠月さん）

高校生の部

差しのべて触れて気づいて温まり小さな親切またひとつ

（都城聖ドミニコ学園高等学校 首藤 沙綾さん）

昼休み異変に気づき声かけた寒さに負けない温かいもの

（高城高校 小野 優志さん）

なにげないありがとうでもうれしくてがんばろうって思える理由

（高城高校 益留 涼華さん）

隔離中急に友から電話着て枯れた声・心一気にうるおう

（都城西高校 隈本 美羽さん）

白い息もう寒いねと友達と話すだけでも心ほかばか

（都城西高校 松下 玲菜さん）

感激です性別選択に「その他」ありまた一步前進ジェンダー平等

（都城農業高校 浦島 慎之介さん）

選者・伊藤一彦氏 全体講評

初めて短歌をつくった人もいるでしょうが、テーマにふさわしい作品が多数寄せられました。やさしさを三十一語の短歌で表すという皆さんの熱い努力に感動しました。

伊藤一彦

「ありがとう」喜ぶ顔が見れました誰かを救うフードドライブ

（都城農業高校 宮下 李音さん）

やさしさで都城があふれたらきつとみんなが笑えるね

（都城農業高校 中村 鈴さん）

ありがとうたった一つであたたまる感謝のバトンどんどんつなぐ

（都城農業高校 宮原 奈々華さん）

一般の部

世代間超えてつながる地域の輪きつと思える一人じゃない

（内田 香織さん）

どうしたの大丈夫だよわたしはあなたの言葉でまた前を向く

（長友 博美さん）

残り物届けることで支援する離れていても力になれる

（新留 由羅さん）

「人に優しく」貴方の言葉道しるべボランティアの父今も会いたい

（内田 文子さん）

きみくれた思いがけないその言葉きみもそうだねがんばってるね！

（中山 麻子さん）

「弱そうに見えても強い人だから」お守りにする優しい言葉

（松尾 陽子さん）

ありがたいしんじつのもとどけものかくりせいかつひとのやさしさ

（馬場 夕子さん）

喜びが変わる一声「こんにちは」私もうれしとなりの笑顔

（野中 つるみさん）

医ケア児の孫にやさしく声かけてよりそってくれる普通小の子

（高橋 伊保美さん）

風花が霧島盆地に舞いおりて老婆おもわず拍手喝采

（沼口 静子さん）